

夢を結ぶ

平岡緑中学校ホームページ <http://www.hiraokamidori-j.sapporo-c.ed.jp>

「地域とのつながり 人とのつながり」

2学年教員より

5月29日～30日にかけて行われた宿泊学習が無事終了しました。今年度は地域学習のテーマを一步広げて、「北海道」の魅力を発見するという目的の下、富良野での農業体験と三笠ジオパークでの研修を行いました。1日目の富良野では生徒たちは10班に分かれ、各農家さんのもとでメロンの苗植えやアスパラの収穫、広大なニンニク畑の雑草取りなど、様々な作業を楽しんで行っていました。2日目の三笠ジオパークでは三笠炭鉱の盛衰が北海道にもたらした影響や現在の三笠のまちおこしに関するお話をガイドさんから聞くことができました。両日共にその地域に根を張り、郷土に誇りをもって仕事に携わる方々からのお話に熱心に耳を傾ける生徒たちの姿が印象的でした。

また、事前の準備では、自分で考えて行動できるようになることを目標に取り組み、先を見通しながら旅行の準備を行ったり、実行委員会を中心とした組織的な動きの中で自分の役割を責任をもって行えるようになったりと昨年度よりも成長を実感できる場面が多くありました。今回の旅行を通じて、改めて家族のありがたみを感じた生徒もたくさんいたようです。保護者の皆様には様々な場面でのご協力誠にありがとうございました。生徒たちには、この経験をこれからの日常生活に存分に生かしてほしいと思っております。

宿泊学習の思い出



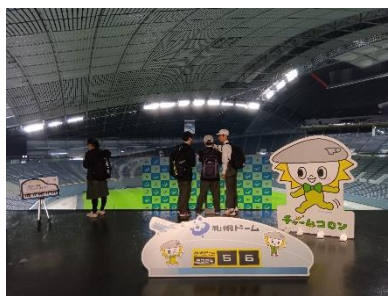
『朗らかで一生懸命な素敵な生徒さんたちですね』

ある施設にご挨拶をしたときにいただいたその一言が、1年生のみなさんが、学校を離れた場所で見せてくれた姿であると、本当にうれしく思いました。

「札幌再考」というテーマのもと、『歴史』『動植物と自然』『芸術・美術』『スポーツ文化』『海外とのつながり』の5つのカテゴリーに分かれ、札幌市内各地の施設に分かれて自主研修を行いました。「総合的な学習の時間」には教科書がありません。単純に答えを求めるための公式などもなく、どんな課題を設定するのか、どんな手段を用いて解決に向かうのか、学び方、深め方は何通りも存在します。単純な一問一答ではないからこそ自分たちに委ねられている部分も多くありました。誰かに何かを与えられることを求めるのではなく、主体的に様々な角度から考察していく力が試されます。当然、戸惑いや苦難に直面する場面もしばしば…。でも、それは「間違い」ではなく、「うまくいかない瞬間をどのように大切にしてお進していくのか」を考えていくための素敵な経験値の一つでもあったと感じます。

『楽しかった!』『うまくいなくて悔しい…!』その向こう側に歩みを進めていくステージに立ちました。行事が終わった後に何を残し、何をつなげていくのか。ここはまだ通過点。「答えのない課題」に正面から向き合える、そんな力をこれから一歩ずつ磨いてほしいと思います。結びになりましたが、校外学習の実施に際しまして、ご協力いただきました保護者の皆様、関係施設各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

校外学習の思い出



～玄関前に花を植えました～

6月3日、PTA環境委員さんとボランティアの保護者の方々とでプランターに花を植えていただきました。玄関前にありますので、御来校の際には是非御覧ください。

